

報道関係者各位

2026年3月27日
宝塚大学 東京メディア芸術学部
成女高等学校
クリアソン新宿

環境教育カードゲーム「マイアース® 新宿・神田川パッケージ」が完成 高校生が生態系調査、大学生がイラスト制作 産官学・地域連携で新宿の環境を子どもたちが学ぶ教材に

宝塚大学 東京メディア芸術学部（新宿区）、成女高等学校（新宿区）、JFL 所属サッカークラブのクリアソン新宿、NPO 法人 SoELa（神奈川県川崎市）は新宿区の協力のもと、新宿区の生態系や環境課題を楽しく学べる環境教育カードゲーム「マイアース® 新宿・神田川パッケージ」を制作し、3月4日に完成発表会を開催しました。

会場の宝塚大学東京新宿キャンパスには、制作に携わったメンバーのほか、関心を寄せる企業や地域の関係者など約40名が集まりました。

昨年6月に始まった本プロジェクトは、新宿の産官学・地域が一体となり、次世代を担う子どもたちが地球環境問題を身近で「自分ごと」として捉えるきっかけをつくることを目的としています。発表会では、制作に携わった生徒・学生や協力者から、本パッケージに込めた想いや制作のプロセスが語られました。



イラストを初採用「大きな挑戦」

NPO 法人 SoELa の木村飛龍常務理事は、「マイアース」の基本理念を説明したうえで、本パッケージについて「全国で14番目のプロジェクトで、東京では初めての取り組みです。カードにイラストを採用したのも初めてで、大きな挑戦でした」と語りました。

また、クリアソン新宿の西山大輝氏は、昨年まで選手としてプレーする中で、気温上昇など環境変化の厳しさを肌で感じてきた経験に触れ、「環境問題はすでに身近な脅威。子どもたちに関心を持ってもらうきっかけをつくりたい」と話しました。

クリアソン新宿は、地域の「ハブ」として企業・行政・学校などをつなぎ、社会課題の解決を目指す活動の一環として本プロジェクトをプロデュース。昨年6月の制作メンバーによる体験会を皮切りに、ワークショップや新宿区内の小中学校での授業や地域イベントでのトライアルを重ね、完成に至ったプロセスが報告されました。

高校生が生態系調査、大学生がイラスト制作

「マイアース® 新宿・神田川パッケージ」の大きな特徴は、高校生と大学生が制作の中心的な役割を担ったことです。

成女高等学校の生物部は、新宿の街の生態系を調査する役割を担当しました。発表を行ったのは大沼ロナさんと吉田琴美さんの二人。2年生・3年生の総勢10名の部員たちは神田川親水テラスや新宿御苑などでフィールドワークを行い、都会の中心でありながらアユ、カワセミ、アオダイショウなど多様な

生物が生息していることを確認し、その豊かな自然に驚いたといいます。

昨年 8 月の制作メンバーが集まったワークショップでは、調査結果をもとに生物同士の捕食関係を整理。カードゲームの基盤となる生態系の構造づくりに貢献しました。

一方、宝塚大学からは田口公美子さんが発表。メディアデザイン分野とマンガ分野の学生が参加し、約 7 か月をかけてカードイラスト 15 種とパッケージデザインを制作しました。主に小学生が遊ぶことを想定し、「虫が苦手な子どもでも親しみやすいデザイン」を追求。リサーチをもとに、柔らかいフォルムや明るい色彩を採用したことが紹介されました。



新宿区や企業も協力

発表会では、協力者を代表して 2 名が挨拶しました。新宿区地域振興部柏木特別出張所所長の矢野勝之氏は「成女高等学校、宝塚大学の皆さまが企画やデザインに携わり、地域の教育機関が一体となって新たな学びを生み出したことを心強く感じています。新宿区としても地域のお祭りなどで子どもたちが実際に触れる機会をつくり、環境への関心を高める取り組みに協力できたことを嬉しく思います。本カードゲームが地域に浸透していくよう、引き続き協力していきたいです」と述べました。

また、パナソニックホームズ株式会社が本プロジェクトへの協賛することを発表。同社東京支社中央支店支店長の阿部亮介氏は「家づくりを通じて環境問題に取り組んでいくという目標において共感し、協賛に至りました。今回のパッケージには『ZEH（ゼッチ）：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス』のカードも含まれており、我々住宅業界が目指すところはまさにそこですので、大変喜ばしく思っております」と語りました。

今後の展望

最後に再び登壇したクリアソン新宿の西山氏は、今後について「試合会場や地域イベントなど、様々な機会を通じて、このカードゲームに触れる子どもたちを増やしていきたい。パートナー企業や地域の皆さまとも協力しながら、環境問題を学ぶ機会を広げていきたい」と展望を語り、発表会を締めくくりました。



【本件に関するお問い合わせ先】
宝塚大学東京メディア芸術学部

担当：渡邊、中村 メール：tokyo-koho@takara-univ.ac.jp 電話：03(3367)3411

成女高等学校

担当：岩崎 メール：t-iwassaki@sei-jo-gk.ac.jp 電話；03(3351)2330

クリアソン新宿

担当：原田 メール：ryo.harada@criacao.co.jp 電話：03(6709)9786